

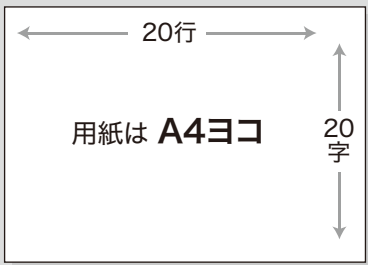
シナリオ応募の書き方

下記の様式や募集内容を守っていないシナリオ・読みやすい文字で書かれていないシナリオは受付できません!必ず守ってください。

- 1 用紙・文章 → 用紙はA4ヨコ・文章はタテ書きです!(パソコン・手書き問わず)
- 2 枚数・構成 → ページ数は表紙が1枚、作品本編部分が最高で7枚の合計8枚以内です!
1ページの行数と文字数は、必ず20行×20字の400文字で統一してください。

【パソコンの場合】 ページの設定を20行×20字に設定してください。

【手書きの場合】 A4の400字詰め原稿用紙を使用し、くっきりとした読みやすい文字で書いてください。(文字が薄いと印刷に出ない場合があります)



文章はタテ書

※シナリオ集にする際は、約70%縮小して印刷しますので、文字が小さくなりすぎないようにご注意ください。

- 3 表紙の書き方 → 表紙も20行×20字様式です。この用紙には作者(応募者)の名前・住所等は書かないでください。

【企画意図】
物語を書いた動機や、作品を通して伝えたいメッセージなどを書いてください。

【タイトル】
しまね映画塾2017応募作品
「銀の道がくれたもの」

【登場人物表】
主要な登場人物・年齢などを書き出します。

【企画意図】
登場人物表
岩田泰三(28才)地元の若者
窪田さやか(26才)旅行者
福井徹(72才)石見銀山ガイド
△△△(…)
□□□(…)

- 4 基本的なシナリオの書き方 → シナリオは場所を指定する柱、動作などを示すト書き、役者がしゃべるセリフで構成する。

②【ト書き】
柱の次の行から、上を数マスあけてト書きを書く。ト書きでは、情景描写と人物の動作を示す。情景描写と人物の動作の間は改行する。

③【セリフ】
ト書きのあとにセリフがくる。行頭に誰のセリフなのか名前を入れ、その下に「」でセリフを書く。

①【柱】
まず最初に柱。そのシーンが行われる場所を書く。これはカメラを置く場所になるので、具体的に書くようにする。その下に()をつけて朝夕夜を書く、昼は書かない。

1 BAR「ジエイ」

カウンターの前に立つ、オンザロックを飲んでいる順次。
照明の具合でこの日の「ジエイ」には都会の匂いがする。
定休日のバーの特徴は静寂である。静寂を破って、ドアの開く音がする。やって来たのは杉山。
順次「ニヤリ」定休日なだけと
杉山「(ニヤリ)…」
と表情で返して、カウンターに腰掛ける。
ビールを瓶ごと渡し、自分もカウンターの中から出てきた順次。杉山の隣に座る。
二人それぞれ自分の酒を飲んでいる。杉山、ガラスに火をつける。
沈黙。
順次「タバコ変えた？」
杉山「うん」